

スペイン語

スペイン語科目の学修の目安（到達のポイント）および学習動機別の効果的な履修モデルは以下のとおりです。

(1) スペイン語学修の目安

	到達のポイント	習得する語彙数の目安	資格検定などで対応するレベル
初級	<ul style="list-style-type: none"> ● スペイン語の基礎的な文法事項・語彙を習得する。 ● 動詞の時制は、直接法のすべての時制と、接続法の現在形・過去形までの学修を目標とする。 ● スペイン語圏の社会・歴史・文化等についての理解を深める（視聴覚資料を適宜利用）。 <p>【読む】辞書を参照することによって、教材などに載っている文章の意味を正確に読解することができる。</p> <p>【書く】辞書や教科書を参照しながら、教材に載っている作文問題などを適切な時制と語彙を用いてスペイン語に訳することができる。</p> <p>【話す・聞く】定型的な表現を用いて、簡単な自己紹介や旅行で最低限困らない程度の会話ができる。</p>	1000	DELE A2程度
中級	<ul style="list-style-type: none"> ● 既習の文法事項の理解をさらに深める。 ● 接続法の用法を理解し、接続法の完了時制・条件文なども使えるようになる。 ● スペイン語圏の社会・歴史・文化等について、さらに理解を深める。 <p>【読む】辞書を参照することにより、簡単な原典講読（スペイン語圏で読まれている小説や新聞記事などの読解）ができる。</p> <p>【書く】辞書や教科書を参照しながら、テーマを決めてある程度の長さの文章を書いたり、自分の意見などを書いて人に伝えることができる。</p> <p>【話す・聞く】習得した文法規則と語彙を組み合わせながら、意思の疎通を試みることができる。自分の考えを述べたり、簡単なニュースを聞き取ることができる。</p>	2000	DELE B1程度
上級	<ul style="list-style-type: none"> ● 読み書きや聞き取り、表現などの実践的学習を行う。 ● 既習の文法事項の復習をしながら、使い分けの難しい時制（過去時制など）も正確に使えるようになる。 ● スペイン語圏の社会・歴史・文化などについての理解を深める（視聴覚資料を適宜利用）。 <p>【読む】スペイン語圏で実際に読まれるテキスト（新聞記事や小説など）を辞書を用いて精読できるようになる。</p> <p>【書く】辞書や教科書を参照しながら、自分の意見などを正しい文法と語彙で表現することができる。書式を覚え、ある程度正式な手紙文を書くことができる。</p> <p>【話す・聞く】テレビのニュースや時事解説などを聞いてある程度理解できる。また、より自然な表現を用いて自分の意見を述べたり、あるテーマについて討論したりできるようになる。</p>	3000	DELE B2程度

(2) スペイン語履修案内

学習動機	大学院進学や長期留学も視野に入れ、専門的な研究でスペイン語を活用したい。
効果的な履修モデル	【1 年次】スペイン語初級(総合) I・II 及びスペイン語初級(実践) I・II を履修。 【2 年次】スペイン語中級, 春夏学期・秋冬学期各 1 科目を履修。 【3 年次】スペイン語上級, 春夏学期・秋冬学期各 1 科目を履修。
学習動機	専門的な研究には従事しないが、将来社会に出てビジネスなどでスペイン語を活用したいので、大学で基礎をしっかりと身につけておきたい。
効果的な履修モデル	【1 年次】スペイン語初級(総合) I・II 及びスペイン語初級(実践) I・II を履修。 【2 年次】スペイン語中級を 1 科目, 地域文化論(中南米)または地域文化論(スペイン)を履修。 【3 年次】スペイン語上級, 1 科目を履修。
学習動機	スペインや中南米の文化に大変興味があり、スペイン語の学習を通して興味を深めたい。
効果的な履修モデル	【1 年次】スペイン語初級(速修) (春夏学期または秋冬学期) 1 科目もしくは(速修) I・II, スペイン語初級(実践) I・II, 地域文化論(中南米)または地域文化論(スペイン)を履修。 【2 年次】スペイン語中級を 1 科目履修。